

坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）素案のパブリックコメントの実施結果について

1. パブリックコメントの実施状況

(1) 意見の募集期間 令和2年2月1日から2月29日まで

(2) 意見の受付件数 1人 4件

2. 意見の概要と市の考え方

No.	意見の内容	意見に対する市の考え方
1	位置付けにあるサヌカイトについては、どのような施策・事業を考えているのか。	基本目標1 活力のある、住みたいまちづくり (2) 坂出の魅力発信において、本市の豊かな地域資源等を、各種広報媒体やイベント開催時などのさまざまな機会を捉えて県内外に情報発信し、坂出の良さの見える化を推進することとしております。地元金山に産出するサヌカイトを使ったサウンドコンサートが定期的開催され、大変好評を博しているように、様々な場面において、坂出らしさをPRするツールとしてサヌカイトを活用してまいりたいと考えております。
2	同じく位置付けにある、坂出三金時はどのような展開を考えているのか。旬のある作物であり、季節が限定されるものもある中で、どうしていくのか。	坂出三金時につきましては、基本目標3 安心して暮らしやすい、持続可能なまちづくり (1) 企業誘致と産業振興による働く場の確保のうち、②魅力ある農林水産物づくりと地域ブランドの展開の中で、生産拡大を図るため、採種産地と青果産地が一体化した種子供給体制の整備による品質向上に努めるとともに、トップセールスを行う等、ブランド力の強化と認知度向上に取り組んでまいります。

3	<p>5 ページにおいて、坂出市はほぼすべての年代において充実はしていると思うが、20 歳前後の年代に必要と思われるものがピンポイントで抜けている。商業施設を学生が支える仕組みにより、そのまま定住・就職へとつながる道がもっとあってもいいのではないか。</p>	<p>本市は、市外からの通勤者または通学者が多い状況にありますが、瀬戸内の交通結節点としてのポテンシャルを定住人口の増加につなげられていない現状があり、まちなかの活性化、快適な住環境整備の推進等により、若者や移住希望者にも選ばれる「まち」づくりに取り組む必要があると考えております。</p> <p>ご指摘の点に関しましては、総合戦略（第2期）策定過程において開催した市内高校生によるワークショップにおきましても、20 歳前後の若い世代が求める商業施設や希望に沿う進学先が少ないとの意見も多くございましたことから、ご意見も参考にしつつ、産業面や観光面をはじめ、さまざまな分野で誘引力を持つ、にぎわいのあるまちづくりに取り組んでまいります。</p>
4	<p>10 ページの、シビックプライドを持つための施策はどのようなものか。坂出市の場合は各人がどういう状態になれば、持っているといえるのか。</p>	<p>シビックプライドとは、注釈にも記載しておりますとおり、「都市に対する市民の誇り。郷土愛のみならず、まちの一員であるという当事者意識に基づく自負心」を意味しており、すべての市民の皆様により、本市のまちづくりに主体的に関わろうという意思を持っていただくことが重要であると考えております。</p> <p>特に、進学や就職時での若者の県外への流出が人口減の大きな要因と考えられますことから、高校生をはじめとした若い世代の方々に対する、シビックプライドの醸成に努めていくこととしており、新年度は、市内の高校において実施される、市長が提案する政策課題を研究する授業「バーチャル市役所」に協力してまいります。</p>